



# 17 履修モデル(メディア工学科)

問合せ先 教務課：名古屋 5号館1F 豊田 1号館1F

## 2つの履修モデル

メディア工学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

### ■メディア技術モデル

CG映像生成、音声合成、立体表示、モバイル端末など、ITメディアによる情報表現のためのインフラ構築、実践的なソリューションの提案が得意、個人や社会への次世代型ITサービスの提供を成し得る技術と知識を身につける。

	1年		2年		3年		4年		計	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター		
工学基礎科目	数学系	幾何学1 (2)	代数学1 (2)	離散数学 (2)	解析学 (2) 確率・統計1 (2)	数値解析学 (2)				12
	リテラシ系			ライティング/コミュニケーション (2) 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)					6
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)			技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2) インターンシップ (2)	キャリアマネジメント2 (2)			10
学科基幹科目	実験・実習系				プロジェクト研究 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	12
	コンピュータ/ネットワーク系	メディア技術1 (ICTの基本) (2)	メディア技術2 (ICTの応用) (2)	メディア技術3 (ICTとメディア社会) (2)						6
学科展開科目	プログラミング系	プログラミング基礎1 (2)	プログラミング基礎2 (2) プログラミング応用1 (2)	プログラミング基礎3 (2) プログラミング応用2 (2)						10
	映像メディア系	映像メディア1 (基礎) (2)	映像メディア2 (Digital Art) (2)	映像メディア3 (CG) (2)						6
学科展開科目	映像処理系		映像処理1 (CG) (2)	映像処理2 (画像処理) (2)	映像処理3 (Computer Vision) (2)		メディア工学特別講義C (2)			8
	音響メディア系			音響メディア1 (Sound Design) (2)						2
	アート/表現系	アート基礎実習A (2)	アート基礎実習B (2)							4
	デザイン系	クリエイティブ・コラボレーション1 (2)	クリエイティブ・コラボレーション2 (2)	クリエイティブ・コラボレーション3 (2) 情報デザイン (2)	グラフィックデザイン1 (2)	グラフィックデザイン2 (2)				14
		14	16	22	16	10	6	3	3	90

### ■メディアアートモデル

アート分野という人間の表現力を最大限に生かすトライアルの場に対して、年々多様化するITメディアをモチーフとして提供するとともに、その効果的な利用方法を提案し、自らもアートの一部として機能し得る技術と知識を身につける。

	1年		2年		3年		4年		計	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター		
工学基礎科目	数学系	幾何学1 (2)	代数学1 (2)							4
	リテラシ系			ライティング/コミュニケーション (2) 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)					6
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)			技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2) インターンシップ (2)	キャリアマネジメント2 (2)			10
学科基幹科目	実験・実習系				プロジェクト研究 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	12
	コンピュータ/ネットワーク系	メディア技術1 (ICTの基本) (2)	メディア技術2 (ICTの応用) (2)	メディア技術3 (ICTとメディア社会) (2)						6
学科展開科目	プログラミング系	プログラミング基礎1 (2)	プログラミング基礎2 (2)	プログラミング基礎3 (2)						6
	映像メディア系	映像メディア1 (基礎) (2)	映像メディア2 (Digital Art) (2)	映像メディア3 (CG) (2)	メディア工学特別講義A (2)					8
学科展開科目	映像処理系		映像処理1 (CG) (2)	映像処理2 (画像処理) (2)	映像処理3 (Computer Vision) (2)					6
	音響メディア系			音響メディア1 (Sound Design) (2)	音響メディア2 (Sound Informatics) (2)		音響メディア3 (Aural Technology) (2)			6
	アート/表現系	アート基礎実習B (2)	アート基礎実習A (2)	工房実習 (2)			メディアアート (2)	メディア工学特別講義D (2)		10
	デザイン系	クリエイティブ・コラボレーション1 (2)	クリエイティブ・コラボレーション2 (2)	クリエイティブ・コラボレーション3 (2) 情報デザイン (2)	グラフィックデザイン1 (2)	グラフィックデザイン2 (2)			メディア工学特別講義B (2)	16
		14	14	20	16	10	8	5	3	90

**アート基礎実習A/B(1年生春・秋)**

- ①この科目は、半期科目で、春学期・秋学期の両学期に開講されます。
- ②履修・修得は、どちらかの学期1回です。1年生の履修学期は、班指定がされています。履修学期は、学科目時間割表で確認してください。

**「キャリアマネジメント1」(3年生春：3年春ゼミ)**

- ①この科目は、学内キャリアセンターと連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、事前に申し込みが必要です。申し込みに関する詳細(受付日・受付方法等)は、2年生秋学期(12~1月頃)にALBOで案内します。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数およびGPA等により選抜を行います。

**「キャリアマネジメント2」(3年生秋：3年秋ゼミ)**

- ①この科目は、学内キャリアセンターと連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、「キャリアマネジメント1」を修得した学生のみ履修できます。

**「プロジェクト研究」(2年生秋：2年秋ゼミ)**

- ①この科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②この科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習/応用演習」、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

**■担当(指導)教員決定方法**

- ①担当(指導)教員決定は、(ゼミ配属)は、2年生の春学期中(5~6月頃)に行います。
- ②ゼミ決定のスケジュールは、ゼミ配属説明会で案内します。情報工学科教員のゼミを希望することができます。募集に関するスケジュールは、同じですが、情報工学科教員のゼミを希望する場合は、希望教員とよく面談をして希望をするようにしてください。また、各自の単位修得状況や卒業要件をよく確認し、卒業に支障のないようにしてください。

**「プロジェクト研究基礎演習」(3年生春：3年春ゼミ)****「プロジェクト研究応用演習」(3年生秋：3年秋ゼミ)**

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、2年生「プロジェクト研究」および4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

**■担当(指導)教員**

- ①原則として、2年生「プロジェクト研究」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当(指導)教員の変更を希望する場合は、3年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、2年生で指導を受けた教員と3年生から指導を希望する教員の双方に了承を得なければなりません。  
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。  
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められたこととなります。履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。

**「卒業研究1」(4年生春：4年春ゼミ)****「卒業研究2」(4年生秋：4年秋ゼミ)**

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」と強く関連しています。

**■担当(指導)教員**

- ①原則として、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は4年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、3年生で指導を受けた担当教員と4年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。  
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。  
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。  
ただし、「卒業研究1」と「卒業研究2」の担当教員を変更することはできません。

**■単位認定方法**

「卒業研究」の単位を認定される為には、卒業研究論文を提出し審査を受けなければなりません。

**■卒業研究論文の提出**

- ①研究論文の形式および体裁は担当教員から指示をします。
- ②提出期日・提出場所等は、ALBOで案内します。

## インターンシップ(3年生)

- ①この科目は、3年生のみ履修ができます(再履修不可)。
- ②キャリアセンターが実施する「インターンシップガイダンス」に参加することが必要です(ガイダンス参加は必須要件)。ガイダンスに参加して、応募の流れから実習の実施、さらには単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認します。
- ③一般企業・非営利団体にて、実務および実習体験を行い、後日「参加報告書」・「研修日誌」を提出します。
- ④一定の条件を満たすと「インターンシップ」として2単位が付与されます。ただし、評価は「認定(N)」です。
- ⑤企業とのマッチングのため、希望者全員が実習を受けられるとは限りません。
- ⑥履修登録は不要です。履修制限単位には含みません。

## 海外セミナーI・II

この科目は、本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し以下の要件を満たした者が、学部固有(選択)科目の「海外セミナーIおよびII」として単位認定されます。

### ■参加・募集方法

国際センターが主催する説明会に出席するか、国際センター事務室で確認をしてください。

### ■単位認定方法

- ①研修参加が決定した者は、研修出発前に必ず各学科の留学担当教員と面談し、課題等の指導を受けてください。
- ②各学科の留学担当教員は、教務課で確認してください。
- ③研修終了後、課題レポートおよび修了証明書を留学担当教員へ提出してください。
- ④単位が認定された場合の成績評価は「N(認定)」となります。※研修参加前後の留学担当教員との面談を行わなかったり、課題を提出しなかった場合は、単位認定はされません。
- ⑤単位認定の機会は2回あります。1回目は「海外セミナーI」、2回目は「海外セミナーII」として認定されます。
- ⑥履修登録は不要です。単位認定後の履修制限単位への算入もありません。

## 他学科開講科目の履修

メディア工学科生は、他学科履修として、情報工学科の科目が履修できます。履修可能な科目は、情報工学科「学部固有科目一覧表(他学科履修の欄)」で確認してください。修得した単位は、学部固有選択単位として10単位まで卒業要件に算入できます。10単位を超えて修得した単位は、自由単位(卒業要件に含まない)となります。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27

### オフィス・アワーについて

工学部では、学部の教員がみなさんの学習についての相談に応えるために、オフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話することはもちろんですが、研究室等においてきめ細かい対応や指導をうけることも出来ます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので、詳細はALBOまたは学部ホームページを確認してください。

### 修得モデル

工学部では、学修の目安となる修得モデルを設定しています。下表を参考にしながら、自身の単位修得状況をしっかりと把握し、計画的な学修を心がけてください。また目標GPAを参考に学修の質の向上も目指してください。

#### 【修得モデル表】

学年	終了時期	総修得単位	目標GPA
1年	1セメ	19以上	各セメ 2.5以上
	2セメ	38以上	
2年	3セメ	56以上	
	4セメ	74以上	
3年	5セメ	92以上	
	6セメ	110以上	
4年	7セメ	121以上	
	8セメ	124以上	

※1-3年生までは、各学期の履修登録制限単位数の約8割を目安としています。

### 学修相談窓口

工学部では、履修や単位修得について相談を希望する学生に対して、学修ケアを行っております。相談は、教務課または、学生ケア委員(学部教員)が対応いたします。学生ケア委員(学部教員)は、主に下記のような活動を行います。

#### 【学生ケア委員の主な活動】

1. 単位修得に問題があり、GPAの低い学生に対する相談窓口  
(個別指導を行う場合もあります)
  2. 授業等に関する相談窓口  
(日常学習での質問を受けたり、専門分野の教員紹介など)
  3. 学生生活に関する相談窓口  
(関係部門への紹介も行います)
- ※各学科の学生ケア委員(学部教員)は、教務課で確認してください。